

劇場への招待

バレエの魅力 講演会

実演付き！

バレエの愉しみ方

— ダンサーと学ぶ舞台の見どころ —

ダンサーによる実演を交えながら、バレエの美しさが生まれる秘密をひもときます。

後半は『くるみ割り人形』を題材に、作品をより深く楽しむための見どころをご紹介します。



講師 安達悦子
東京シティ・バレエ団芸術監督

2026年
10.31(土)

開場13:30/開演14:00 ※終演16:00予定

会場 小山市立文化センター小ホール

チケット 全席自由 1,000円

※未就学児同伴の入場はできません。※公演の中止以外、チケットの払戻しは一切いたしません。
※小山市立文化センターに専用駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。
小山市役所の駐車場が空いている場合はご利用いただけます。

小山市立文化センター窓口
チケットペイにて発売中！



チケットペイは
こちらからアクセス
<https://www.ticketpay.jp/>

1972年、松山バレエ学校に入学。松山樹子、森下洋子、清水哲太郎に師事し、在学中の1976年に松山バレエ団へ入団。ソリストとして活躍の後、プリマとして主要作品を務める。1979年、慶應義塾大学在学中に第1回アメリカ・ジャクソン国際バレエコンクールで銅メダルを受賞。同年、文化庁芸術家在外研修員としてモナコ王立プリンセス・グレース・アカデミーに2年間留学し、マリカ・ベソブラソヴァの指導を受け、ExcellenceIVを修了。1984年に松山バレエ団を退団。翌1985年、韓国ユニバーサル・バレエ団の公演にゲスト出演し、その後カナダへ渡り、ロイヤル・ウィニペグ・バレエで研鑽を積む。1986年、東京シティ・バレエ団にプリマとして迎えられ、石田種生・石井清子のもとで「白鳥の湖」「ジゼル」「コッペリア」「エスメラルダ」「真夏の夜の夢」など数多くの作品に主演。オペラの振付も手がけ、創作活動にも取り組む。2008年には文化庁派遣研修員としてベルリン国立バレエ団に赴き、研修を受ける。2009年4月より東京シティ・バレエ団理事長・芸術監督に就任。NHK「ローザンヌ・バレエコンクール」解説をはじめ、国際コンクール審査員として後進の育成にも尽力。現在、洗足学園音楽大学客員教授。

■ お問い合わせ 小山市立文化センター 0285-22-9552 (9:00~17:00)

主催：公益財団法人東京シティ・バレエ団 共催：小山市立文化センター 後援：小山市文化協会



東京シティ・バレエ団